

さい 議会だより



おじいちゃん、おばあちゃんといっしょに (佐井村保育所もちつき : 平成 30 年 1 月 13 日) 【関連記事 : 3 ページ】

1 2 月定例会の主な内容

- ☆ 医療機関開業、医師招へいの見通しは 5 ページ
- ☆ 一般質問に 2 名登壇 6 ~ 9 ページ
- ☆ 道路整備に関する意見書を提出 10 ページ
- ☆ お元気ですか「みんなのお母さん」 12 ページ



審議した主な議案

○特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例

平成 29 年人事院勧告及び青森県人事委員会の勧告に基づき青森県が実施する方針に沿い、特別職の職員の期末手当の支給率を改正する。

平成 29 年 12 月分 支給率 160/100 → **170/100**

平成 30 年 6 月分 支給率 145/100 → **150/100**

平成 30 年 12 月分 支給率 170/100 → **165/100**

○職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

平成 29 年人事院勧告及び青森県人事委員会の勧告に基づき青森県が実施する方針に沿い、職員の給料を若年層で 1000 円程度、その他 400 円程度引き上げる。また、勤勉手当の支給率を改正する。

平成 29 年 12 月分 支給率 77.5/100 → **92.5/100**

平成 30 年 6 月分 支給率 77.5/100 → **85.0/100**

平成 30 年 12 月分 支給率 92.5/100 → **85.0/100**

【議員発議】

○佐井村議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

佐井村が実施する給与改定方針に沿い、議会議員の期末手当の支給率を改正する。

平成 29 年 12 月分 支給率 160/100 → **170/100**

平成 30 年 6 月分 支給率 145/100 → **150/100**

平成 30 年 12 月分 支給率 170/100 → **165/100**

○定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について

平成 27 年 10 月 5 日、むつ市と締結した「定住自立圏の形成に関する協定」の地域内外の住民との交流及び移住促進に関する取り組みに『婚活支援の推進』を加えるもの。

※下北圏域の独身者の婚姻を支援し、移住・定住につなげていくもの。平成 29 年度は 10 月 21 日～22 日、薬研温泉と尻屋崎を主会場に開催され、下北在住の男性 15 人、下北在住を含む女性 10 人が参加し、5 組のカップルが成立している。平成 30 年度は北通りのジオサイトを巡るコースが予定されている。

平成 29 年第 4 回定例会は、12 月 6 日から 8 日までの 3 日間の会期で行われました。村長から、条例案 4 件・補正予算案 4 件・同意 3 件・その他 2 件の計 13 件、議員から条例案 1 件・意見書案 2 件が提出され、それぞれ原案どおり決しました。議員から
 なお、今定例会は議員 1 名が病気療養中のため欠席し、7 名中 6 名の出席により審議を行いました。
 (平成 29 年 12 月現在の議員定数 8 名：在職議員 7 名、欠員 1 名)

補正予算の内容

| 会計 | | 補正前 | 補正額 | 計 |
|------|------|--|-----------|------------|
| 一般会計 | | 25億7552万5千円 | 3151万7千円 | 26億704万2千円 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・障害者自立支援システム改修業務委託費 144万3千円 ・佐井村保育所への指定管理料、広域入所委託料(大間町) 634万4千円 ・医療機関等建設に係る用地購入費 1085万4千円 ・給与改定に伴う人件費(給料、手当、共済費等)の増額 など | | |
| 特別会計 | 簡易水道 | 8003万4千円 | 138万4千円 | 8141万8千円 |
| | | ・給与改定に伴う人件費の増額など | | |
| | 下水道 | 1億8296万4千円 | △2000万2千円 | 1億6296万2千円 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・給与改定に伴う人件費の増額 ・公共下水道、集落排水事業の消費税の確定に伴う増額 ・牛滝地区漁業集落排水施設整備事業の不採択による減額 | | |
| 介護保険 | | 2億8971万7千円 | 2696万4千円 | 3億1668万1千円 |
| | | ・通信運搬費、保険給付費の実績見込みによる増額 | | |

再任

固定資産評価

審査委員会 委員

滝本 一正さん

佐井村固定資産評価審査委員会委員 滝本一正氏の任期が、平成29年12月17日で満了することから、同氏を再任することに、全会一致で同意しました。



滝本一正さん
(古佐井)

固定資産評価審査委員とは…

「固定資産評価審査委員会」では、地方自治法の定めにより、中立的・専門的な立場から固定資産課税の台帳に登録された事項に関する不服の審査・決定などを行ないます。委員は、佐井村の住民税の納税義務がある方、または固定資産の評価について学識経験を有する方を、議会の同意を得て、村長が選任します。定数は3名です。

再任

教育委員会 委員

宮川由実子さん

佐井村教育委員会委員 宮川由実子氏の任期が、平成29年12月19日で満了することから、同氏を再任することに、全会一致で同意しました。



宮川由実子さん
(大佐井)

再任

教育委員会 委員

坂井 一尚さん

佐井村教育委員会委員 坂井一尚氏の任期が、平成29年12月26日で満了することから、同氏を再任することに、全会一致で同意しました。



坂井一尚さん
(牛滝)

●●●日本でも最も美しい村づくりビジョン●●●

「日本で最も小さくかわいい漁村」を目指す アクションプランの周知を

竹内修委員

日本でも最も美しい村づくりへの取り組みとして、28のアクションプランが示された。

これに対し、村長はどのような印象を受けたか。

理想的だが
難しいものもある

村長

平成19年7月に施行した「むらづくり基本条例」は、住民が一致結束して何事にも取り組むことを目的に制定されている。今回、産・官・民による検討結果に、感謝と敬意を表したい。

プランには、すぐに実現可能なもの、理想的ではあるが実施が難しいものがある。新年度、取り組めるものから実施したい。

職員の協力体制と
予算の確保は

竹内修委員

職員の協力体制と、今後の事業に関する予算は。

補助金等を活用し
全庁的に取り組む

村長

事業の実施には補助金や交付金等を活用し、全庁を挙げて取り組むたいと考えている。

住民へ周知すべき

竹内修委員

プランと実施事業について、住民に周知すべき。

説明会等で
周知する

村長

住民を対象とした説明会やパブリックコメントにより周知し、2030年までの実現に向けて取り組んでいく。



日本で最も美しい佐井村づくりシンポジウム（平成29年11月13日）

定住自立圏の形成に関する協定

広域連携で鳥獣害防止を

川畑委員

鳥獣被害対策として、猟銃免許を公費で取得させたことを評価する。猟銃の管理体制は整っているか。

保管状況を
報告させる

産業建設課長

現在クマ駆除を依頼している方々が高齢のため、職員が猟銃免許を取得した。猟銃の保管状況を定期的に報告させるなど、管理を徹底したい。

関係市町村へ
働きかけを

川畑委員

定住促進への取り組みとして、関係市町村に猟銃免許取得について働きかけてほしい。

情報を
提供している

村長

村の取り組みは、関係市町村に情報提供している。免許取得者を増やすため、今後も働きかけていく。



仕掛けたわなに興味を示すクマ

医師招へいの見通しは

坂井委員

医師招へいに向けた用地取得は、どのような予定で進めるのか。

落札した場合、2月中旬

に所有権移転手続きをし、関係者との協議に入る。

入札に参加し
取得したい

住民福祉課長

1月9日公示、2月22日開札予定の国有地を、入札により取得したいと考えている。

平成30年度には
開業されるか

坂井委員

順調にいけば、平成30年度には開業されると期待して良いか。

難しいと思われる

住民福祉課長

建築確認申請、業者選定や工期の調整、住民への説明が必要であり、すぐに開業することは難しいと思われる。

赤字が発生しても
支援しないのか

坂井委員

開業した医療機関に、仮に赤字が発生した場合でも、村は支援しない方針か。

資金は援助しない

村長

確かに赤字が見込まれる状況ではあるが、土地の無償提供、駐車場の整備などを村が行えば、資

金援助は必要ないと伺っている。

住民のため
柔軟な対応を

坂井委員

赤字が見込まれる状況で、すぐに経営不振で撤退するようなことがあれば、住民の期待を裏切ることになる。もっと柔軟に対応すべきではないか。

患者数の
確保に努める

村長

村の取り組みについては、下北医療センターの会議でも報告している。整形外科の開業を見込んでおり、村内だけでなく近隣市町村の方々にも利用していただければ、患者数が確保できると考えている。

佐井診療所の歴史

| | | |
|---------|------------|-------------------------------------|
| (1915年) | 大正 4月 4月 | 三上剛太郎氏「三上医院」を再開) |
| 1961年 | 昭和 36年 11月 | 牛滝へき地出張診療所開設 |
| 1965年 | 昭和 40年 1月 | 福浦へき地出張診療所開設 |
| 1966年 | 昭和 41年 5月 | 長後へき地出張診療所開設 |
| 1967年 | 昭和 42年 7月 | 歯科診療所開設 (大佐井 1) |
| 1969年 | 昭和 44年 6月 | 三上慎蔵氏の死去に伴い、三上医院が佐井村立診療所に (大佐井 12) |
| | 8月 | 磯谷へき地出張診療所開設 |
| 1971年 | 昭和 46年 4月 | 一部事務組合下北医療センター設立 (各施設名称変更) |
| 1980年 | 昭和 55年 4月 | 佐井診療所新築移転 (大佐井川目 39-1) |
| 1985年 | 昭和 60年 4月 | 磯谷診療所廃止 |
| 2007年 | 平成 19年 1月 | 長後診療所廃止 |
| 2008年 | 平成 20年 4月 | 佐井診療所医科廃止 「佐井歯科診療所」に名称変更 【無医村となる】 |
| 2012年 | 平成 24年 4月 | 佐井歯科診療所移転 (大佐井 114-1: 旧青い森信用金庫佐井支店) |



田中岩男議員

住民から行政への要望事項 状況を考慮し事業を実施せよ

村長 — 財政状況を勘案しながら対応する

田中議員

毎年「地区要望」として、各地区・町内会から要望事項が提出されている。平成29年度の要望事項に、どう対応したか。

1544件のうち
154件は要望どおり

村長

平成29年度の地区要望は全部で44件。うち15件は要望どおり対応している。

法面の保護や側溝の改良は

田中議員

全体の3分の1しか対応できていない。法面の保護や側溝の改良など、住民の生命を守るため対応すべき箇所が先送りされていないか。

重要性を考慮し対応している

村長

地域の実情、重要性を考慮し、限られた予算の中で効率的・効果的に対応していきたい。

長年の要望も実施されないのは

田中議員

道路改良や漁港整備は、

長年要望していても実施されないのはなぜか。

村単独で事業はできない

村長

県等の補助を受けなければ、村だけで事業は実施できない。関係機関に働きかけ、計画的に事業を実施したい。

道路の危険箇所把握しているか

田中議員

国道を含む村内の道路は陥没や亀裂が多くみられ、危険を感じている。村では状況を把握しているか。

把握している

産業建設課長

亀裂や路面の傾きを把握している箇所はある。図面や写真を添付し、事業採択に向けた努力をしている。

要望は書面だけか

田中議員

事業採択への要望は、書面によるものか。

直接訪問する
場合もある

村長

書面によって行う場合



バリケードが置かれている国道（福浦～牛滝間）



町内会からの要望に応え、一部改良された八幡宮への階段の手すり（大佐井側）

平成29年度地区要望

(抜粋)

役場前から佐井小学校までの歩道の破損が著しく、危険であるため改良を望む。

→ 平成29年8月、改修工事が完了。

原田腰掛八幡宮周辺の袋小路を解消してほしい。

→ 地形的に解消は不可能。

川目地区八右エ門沢に堆積した土砂を撤去し、沢水が住宅周辺にあふれないようにしてほしい。

→ 平成29年度内に改修工事完了予定。

見通しが悪い箇所にはカーブミラーを設置してほしい。

→ 地域内で土地の調整ができれば可能。

サル、カモシカ、クマによる農作物や杉への被害を減らすため、駆除をお願いする。

→ サル、クマは計画的に捕獲駆除を実施している。

長後川河口付近に堆積した土砂が漁港内に流入してくるため、土砂を撤去してほしい。

→ 平成29年12月、改修工事を完了。

福浦川河口付近に堆積した土砂が漁港内に流入してくるため、土砂を撤去してほしい。

→ 県民局との協議を要する。

治山工事により設置した側溝が度々あふれてくるため、早急な対応を望む。

→ 改良に向けた検討をするが、地域の方々でも定期的な清掃をお願いする。

と、県等へ伺って直接要望する場合がある。

一般財源での対応は

田中議員

可能であれば、住民からの要望には一般財源を投じてでも対応すべきではないか。

緊急性があれば対応する

村長

引き続き、徹底した経費節減・自主財源の確保

に努め、財政状況を勘案しながら、緊急性のあるものから実施していく。ながら、住民の要望に

経済効果も考慮すべき

田中議員

節減ばかりではなく、村内の経済面も考慮し、事業を実施すべき。

財政の健全化を図る

村長

健全な財政運営に努め、事業の点検や見直しをし

もしもの時、いざという時のために 救命講習会を受講



心臓マッサージは30回
人工呼吸は2回です



倒れている人を発見！意識がないようです
「すみません、救急車を呼んでください！」

12月6日(水)、定例会1日目の会議終了後、消防センター2階で行われた「救命講習会」を議員6人が受講し、AEDの使い方とAEDを使用した心肺蘇生法を学びました。
佐井村議会としては、平成20年12月以来の受講となりましたが、万が一に備え、声を掛け合いながら真剣に取り組みました。



山口捷夫議員

アルサス周辺賑わい空間創出事業 環境を整え「道の駅」登録を

村長 — 関係者と協議する

山口議員

「津軽海峡文化館アルサス周辺賑わい空間創出事業」は、将来的にアルサスを道の駅にすることを想定した事業か。

体制が整えば登録申請する

村長

この事業では、アルサス内にエレベーターを設

置、観光船切符売り場の

移設、地場産品販売市場の開設、24時間利用できる公衆トイレの設置などを計画している。

地域創生拠点整備交付金により実施し、道の駅としての体制が整い、条件が合えば登録申請をしたいと考えている。

実施していない

村長

会議などは、まだ開催していない。

道の駅への登録難しいのでは

山口議員

テナントの冬季休業や営業時間などの課題が解消できなければ、道の駅への登録は難しいと思うが。

関係者との話し合いは

山口議員

以前から、行政、指定管理者を交え、アルサス内のテナント業者と話し合いをすべきと言ってきたが、話し合いはされたか。

課題の改善を図る

村長

テナント関係者の現状と将来展望を確認し、改善策を見出したい。

道の駅地域振興に期待

山口議員

道の駅が地域振興に果たす役割は大きい。早期に対応すべき。

早めに対応する

村長

関係者と協議し、早めに対応したい。



野菜の苗などを求める人でにぎわった「アルサス市」
(平成 29 年 5 月 13 日)



24時間使用できる公衆トイレを建設中

12月定例会

しおさい公園に
桜の植樹は

山口議員

平成28年6月定例会で、しおさい公園に桜を植樹できないか質問したが、町内会などの団体が実施することはできないとの回答だった。

今回のしおさい公園の整備事業に、植樹は計画されているか。

計画していない

村長

植樹にあたっては、公園や駐車場の障害とならないよう配慮する必要がある。また、管理体制の確立も重要であることから、今回は計画していない。

周辺の緑化整備は

山口議員

同じく、隣接する土地(旧新聞店前)の一部未



未舗装となっている漁港整備で生じた土地
(旧新聞屋おおぎや前)

活用計画を
策定する

村長

現段階では、舗装を必要とする明確な理由がないため、緑化整備を含む活用計画の策定を進める。

舗装部分の舗装または緑化整備を要望していたが、土地を所有する県との協議はされたのか。

「美しい村」で
環境整備を

山口議員

植樹、緑化整備は今後、「日本で最も美しい村」の環境整備の一環として実施できないか。

検討する

村長

「日本で最も美しい村」の取り組みとして検討する。

モニュメントも
改修すべき

山口議員

しおさい公園内の「わんぱく広場」に設置されている伊勢屋多賀丸の漂流軌跡を示したモニュメントが損傷しているため、合わせて改修できないか。

平成30年度以降
対応する

村長

平成30年度以降、対応したい。

多賀丸船員の功績
後世に伝えるべき

山口議員

多賀丸の船員が、日本とロシアの交流に果たした功績は大きい。先人の活躍に誇りを持ち、後世に伝えていくのが村の役割ではないか。

大切にしたい

村長

多賀丸をはじめ三上剛太郎先生の功績など、ほかにはない素晴らしいものを大切にしていきたい。



木製の「漂流図」には破損や落書きが見られる

【議員発議】

道路整備予算の拡充及び道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書

佐井村の地勢は急峻で平坦地が少なく、ほとんどが山地であることから、海岸線に沿って集落が点在しています。

が、この措置はこれまで青森県はもちろんのこと、地方の道路整備においても多大なる寄与を果たしています。

- 1、道路整備に必要な予算の拡充を図ること。
- 2、道路財特法の規定に基づき補助率等の嵩上げ措置について、平成30年度以降も継続すること。

記

その集落を結ぶ道路として国道338号が整備されていますが、断続的に狭隘な箇所が多く、さらに急勾配や急カーブが続くことから、早期の道路改良が強く村民から望まれており、より一層の改良促進が喫緊の課題となっています。

しかしながら、この道路財特法による嵩上げ措置は平成29年度までの期限措置であり、このまま期限切れとなれば、道路整備のための地方の財政負担が増加することとなり、その進捗が一層の遅滞を招くとともに、地方創生及び国土強靱化の推進にも大きな影響を与えると考えられ、地方自治体にとっては死活問題になりかねません。

大島 理 森 殿
伊達 忠 一 殿
参議院議長

これらの道路工事にあたっては、その財源確保が最も重要であり、この財源に対する措置として「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」(以下、道路財特法)の規定による補助率の嵩上げ措置があります。

よって、国においては、来年度以降も迅速かつ着実な道路整備を推進するため、次の措置を講じられるよう強く要望します。

内閣総理大臣
安倍 晋 三 殿
財務大臣
麻生 太 郎 殿
国土交通大臣
石井 啓 一 殿

よって、国においては、来年度以降も迅速かつ着実な道路整備を推進するため、次の措置を講じられるよう強く要望します。

よって、国においては、来年度以降も迅速かつ着実な道路整備を推進するため、次の措置を講じられるよう強く要望します。

若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書採択の陳情

採 択

【陳 情 者】 全日本年金者組合青森県本部 執行委員長 千代谷 邦弘

【審 査 結 果】 **採 択**

【付託委員会】 総務産業常任委員会

【陳情の趣旨】 ワーキングプアの拡大が国民年金の未納者を増大させ、若い人たちが将来的に無年金・低年金となることが懸念されている。また、現在年金を受給している高齢者の生活を守るため、「年金カット法」の実施や支給開始年齢の引き上げをやめ、国庫負担による最低保障年金制度の実現を求める。

【採択の理由】 本来、年金は今以上に支給し、若い人も高齢者も老後を安心して送ることが大事であると考えため。

採択された意見書

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣へ提出しました

ふるさとには遠きにありて思ふもの
 東京佐井同郷会

派遣議員代表 田中 岩男

平成29年11月25日、東京都千代田区「居酒屋跳人」で開催された東京佐井同郷会に、竹内議長とともに出席した。

奥本陽一会長をはじめ、会員約70人、東京県人会から塩谷事務局長、佐井村から樋口村長、田名部参事・総務課長、佐井村漁協の若山加工課長が出席した。

当初、会員の出席は60人程度を予定していると伺っていたが、当日までに10人ほど増えたということだった。

そのためか、開宴前に行われた佐井村漁協の加工品販売はあっという間に完売してしまい、購入できなかったことを残念がる声が多く、多くの会員の方から聞こえた。

奥本会長、塩谷青森県人会事務局長、樋口村長、古川猛佐井村応援大使のあいさつに引き続き、指名により竹内議長が乾杯の発声をして開宴。佐井村が用意したお土産が会員に配られると、懐かしさに歓声が沸き、賑やかに、そして和やかに時間が過ぎて行った。

故郷の話題で盛り上がり、つたところに、会員の竹本純三さんが用意した太鼓一式が会場に運び入れられた。出席者とともに神楽囃子や祭囃子が演奏されると、思い出話になられた。お一層花が咲き、年一度の再会をとても楽しまれているようだった。



年に1度の再会（佐井会）を祝して乾杯！

任期満了に伴う佐井村長選挙、佐井村議会議員補欠選挙が
(欠員1)

4月22日（日）に予定されています

議員が選挙区内の人にお金や物を送ることは法律で禁止されています

1. 本人ではなく、代理の人が出席する場合の結婚祝
2. 本人ではなく、代理の人が出席する場合の香典
3. 葬儀への供花
4. 落成式、開店祝などの花輪
5. 入学祝、卒業祝
6. 病気見舞
7. お中元、お歳暮
8. お祭りへの寄付や差し入れ
9. 町内会の集会や催し物への寸志、飲食物の差し入れ
10. 地域内の運動会、スポーツ大会への飲食物などの差し入れ など

寄付をしたり、寄付を受け取ったりして「公職選挙法」に違反し処罰されると、公民権停止の対象となります。公民権が停止されると、その期間中は選挙に立候補することも、投票することもできなくなります。

みなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

元気！で働くお年寄りを紹介



若山ちよさん (90歳) 古佐井
「みんなのお母さん」

昭 和2年、古佐井に生まれ、9人兄弟の4番目として育ち、弟たちの母親代わりだったと話す若山ちよさん。

結婚当時は谷地町に住んでいましたが、黒岩に家を新築し、子育てをしながらできる仕事だからと、食品と日用品を販売するお店を始めました。朝4時すぎに起きて佐井中学校近くの畑で仕事をし、6時前には戻って家事をこなす。日中は店で買い物客や業者さんの相手をし、昼寝をする習慣はないと言うほどの働き者。40年ほど前は黒岩にもたくさん人が住んでいたし、中道

方面の田畑に出かける人が、休憩用の飲み物やおやつをたくさん買ってくれた。近くに子供たちの海水浴場があり、監視員を務める保護者が使用する道具を預かっていて、いつも子供たちが買物に来たてくれたと、懐かしそうに話してくれました。

また、30代後半からは自転車に乗り、緑町あたりまで配達に出たそうです。それを82歳頃まで続けていたため、今でも「まだ自転車に乗って配達しているの？」と声を掛けられることもあるのだとか。残念ながら、買い物客も減

り、ご自身も高齢となったため、8年前に自宅兼店舗を改装。店を閉めようと考えていたところ、昔馴染みの問屋さんから「お母さん、店をやめたらボケちゃうよ。こっちに來たら寄ってあげるから続けてよ」と言われたそうです。

仕事を続けていられるのは、こうした問屋さんや、今でも注文に來ながらお茶飲みをしてくれる友人のおかげ。誰かが訪ねて来てくれるのが何よりの楽しみとのこと。

料 理が得意なちよさんは、1人暮らしをしている弟さんや県外に住むお孫さんにおかずを届けています。みなさん、ちよさんの「おふくろ

の味」が大好きで、昨日も大きな鍋にけんちん汁を煮て、親戚の方々に喜ばれたそうです。

また、冬は畑仕事もないので、テレビの歌番組を見ながら、昭和歌謡や演歌を口ずさんでいるそうで、「歌手なら、氷川きよしが好き」と、照れながら教えてくれました。

規則正しい生活と医師の指示を守っているのが良いのか、母も106歳まで生きたので長生きの家系なのか。納豆は食べられないけれど、ほかは何でも食べるから元気で見られるのかな、と素敵な笑顔をを見せてくれました。



週2回、問屋さんから仕入れている品々 (左：同居する娘の悦子さん)

◇編集後記◇

平成29年は、爆弾低気圧が多発するなど、大雨や高波が多い年でした。

予報によると、平成30年も、異常気象の発生しやすい年になることですので、天災が起ころぬよう、住民のみなさんに事故がないようお祈り申し上げます。

今年もみなさんに分かりやすい議会だよりを作っていますので、どうぞよろしくお願いたします。

(田中)

議会広報編集委員会

- 委員長 田中 岩男
- 副委員長 山口 捷夫
- 委員 宮川 尚
- 委員 竹内 典和
- 委員 川畑 勲夫